

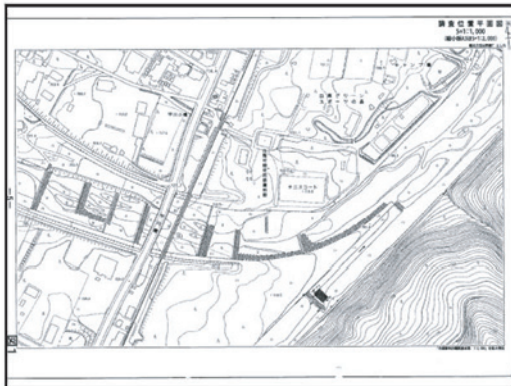
神城断層の調査結果を再検証する〜講演会の資料より抜粋  
 国土問題研究会 奥西一夫氏



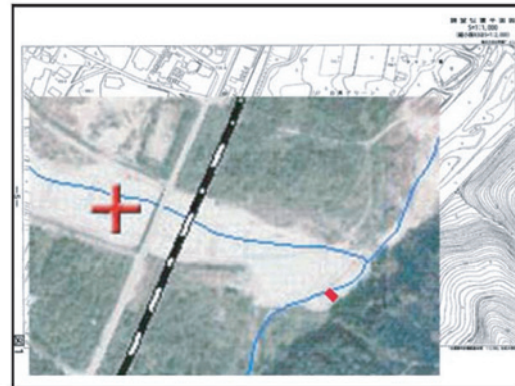
①平川が運ぶ土砂の量は姫川本線よりもはるかに多い。



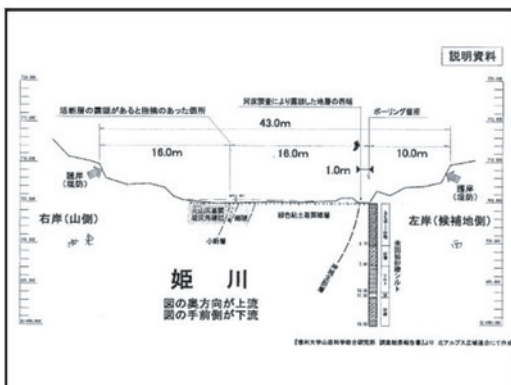
②絞り込まれた立地の検討。平川改修前の地図を使っていることに注意。



③断層調査の位置図。平川の河川改修で流路が変わったことに注意。



④断層調査地点は平川の旧流路の一部。これで何が分かるのか？



⑤調査結果に基づく断面図。必要な調査をしていないことがこの図から分かる。ボーリングが浅すぎる。主断層を横切るボーリングがない。弾性波検査がない。

<引用元>

- ①: 国交省国土計画局のHP
- ②: 北アルプス広域連合のHP
- ③, ⑤: 北洋建設の中間報告書, 平成20年2月
- ④: スライド①と③の重ね合わせ

## 問題解決に向けて・・・

ごみ連協では、問題解決に向けた下記のような「提言」を昨年10月下旬に、広域連合長に文書で行っています。また、様々な機会にこのようなアプローチを行ってきました。しかし、広域連合長からは、昨年11月30日に「この提言につきましては、承り今後の検討の参考とさせていただきます」との回答があっただけで、その後今日まで進展がありません。(近々予定されている連合長との懇談会で明らかにしていきたいと思っております)



- (1) 北アルプス広域連合は、建設計画の一時凍結を宣言する。
- (2) その後直ちに、(公募の)住民・専門家・行政参加の「建設計画再出発検討委員会」(仮称)を立ち上げる。委員会は計画をどこまで戻すのが妥当かを含め、再出発に関わる基本方針を策定し連合長に答申する。この委員会は公開とする。
- (3) 連合長は策定された基本方針を基本的に受け入れ、広域連合議会に上程・審議し、承認が得られるまでキャッチボールを行なう。広域連合議会で承認された方針は、3市村議会で批准されてはじめて効力を持つこととする。
- (4) そうなった時点で「建設計画再出発検討委員会」(仮称)は解散し、(公募の)住民・専門家・行政による新たな実務を担当する委員会を設けて、その委員会に、戻した時点からの作業(たとえば、18箇所の候補地に戻した用地選定など)を委ねる。この委員会は公開とする。

以上の質問と提案に、1週間を目途にご回答いただきたくお願い申し上げます。この文書と回答は、公開させていただきますのであらかじめご承知おきください。

<2007/10/25 提出の「建設計画の即時中止を - 質問と提言 -」より抜粋>

## 白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会ニュース

発行: 白馬新ごみ処理施設を考える連絡協議会 (会長: 宮田温巳)  
 白馬村北城八方口5897-1 (たきみや) <事務局> TEL: 0261-72-2527 FAX: 0261-72-4344

皆様の一層のご支援をお願いいたします!

カンパ振込先: 八十二銀行白馬支店 普通口座: 137464 名義: ハクバゴミモンダイカンパ

